

水しぶきと共にはじける
情熱を伝える会報誌

飛沫 Vol.41

同志社大学水泳部OB・OG会 | 2025.November

日本人初の偉業達成!! 梶本一花 世界選手権金メダル



世界水泳 戦績

OWS

- 7/16 10km決勝【8位】※日本人初
- 7/18 5km決勝【3位】※日本人初
- 7/19 3kmノックアウトスプリント【1位】※日本人初

競泳

- 7/27 400m自由形予選【12位】
- 7/28 1500m自由形予選【10位】※自己ベスト
- 7/31 4×200mリレー予選【8位】
- 7/31 4×200mリレー決勝【8位】
- 8/1 800m自由形予選【8位】
- 8/2 800m自由形決勝【8位】

ご挨拶

同志社大学体育会水泳部
OB・OG会 会長

藤田 周士



日頃から多くのご支援、ご協力を賜り有難うございます。定例の飛沫発行にあたりまして、ご挨拶申し上げます。

ご案内の通り、先日シンガポールで開催された世界水泳選手権大会において4回生の梶本一花選手がオープンウォーター競技で金メダルと銅メダルを獲得し、競泳では800m自由形で8位入賞を果たしました。同じく代表選手に選ばれた3回生の藤本穂選手は競泳200mバタフライで予選12位、準決勝13位の成績を挙げました。日本代表に選ばれただけでも大変なのに、その上本番で結果を出して来た事には舌を巻きます。両選手の努力は当然のことながら、ご家族やスイミングスクール等々、関わられた皆様の支えが有ってこそこの快挙とお慶び申し上げます。

次いでインカレの成績報告です。競泳競技は9月に東京アクアティクスセンターで行われました。男子は残念な結果に終わりましたが、女子は総合14位となりました。

オープンウォータースイミング競技は10月に千葉県で開催されました。女子10kmで梶本選手が優勝。5kmで梶本選手優勝、藤本選手4位入賞。そして女子総合優勝を勝ち取りました。

これらの結果を受けて、10月26日に京都リーガロイヤルホテルで世界選手権の祝勝会を開催して多くの方々を喜びを共にしました。事の発端は7月18日に梶本選手が3位入賞を果たした時に「祝勝会開催に値する快挙!」と喜んだ事からです。ところが、企画や準備を進めているうちに「日本初金メダル」「OWSと競泳二刀流」「藤本準決勝進出」「インカレ総合優勝」とジェットコースターに乗っているがごとくお祝いの事が次から次へと現れて来るではありませんか!

「盆と正月」どころか「お彼岸にゴールデンウィーク」まで一度に来た気分でした。

新島先生が「同志社英学校」を立ち上げられたのは1875年ですから、学校としては今年創立150周年を迎えます。欧米列強が世界の植民地支配を進めていた当時の世界情勢から考えますと、新島先生の目的意識の中には我が国の独立を保つ事が有り、その為には人材育成こそが必要であると考えられた事と思います。

今回の梶本選手の活躍は、世界に向けて「日本ここにあり!」と大きく発信いたしました。「国際主義」を一つの柱とする同志社において、世界に向けて活躍する選手が出てきてくれたことは何より嬉しいことです。一方「地の塩」のごとくその活躍を支えるチームメイトやマネージャーの存在も忘れてはいけません。私たち水泳部としては、今後とも「良心を手腕に運用」し、「一国を組織する」人材の育成を目指して水泳に向き合っていって参ります。

さて、おめでたい事の連続ではありますが、が喜んではかりはいられません。華しい成果の陰で、地道に努力を積み重ねている田辺組にもっとスポットライトが当たるべきです。何よりも、競泳の試合で得点が上げられるように選手数を増やすことが必要です。リレーのオーダーが余裕をもって組めることまでは持てたいものです。練習環境の整備や入試制度の改善等、学校が動かない事にはどうにもならない部分が残りますが、勧誘等の自分たちの工夫で何とかするところから始めてゆきます。部員数の拡大に関しては、中長期的課題として息長く取り組んでゆく所存です。インカレが終わり、3回生を中心とした新体制がスタートしてまいります。今後とも水泳部に対して物心両面のご支援を賜りますようお願い致します。飛沫発行のご挨拶とさせていただきます。

新幹部の ご挨拶

同志社大学体育会水泳部

主将
根倉 悠樹弘



この度、同志社大学体育会水泳部第102代主将を務めさせていただきますことになりました。3回生の根倉悠樹弘と申します。まず初めに、平素より多大なるご支援とご協力を賜っておりまして、O・B・OGの皆さま、並びに保護者の皆さまに、心より御礼申し上げます。皆さまのお力添えがあったからこそ、私たち水泳部は今日まで成長を続けることができております。今後とも部員一同、より一層の成長を目指して精進してまいりますので、引き続き温かいご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。新シーズンが始動してからおよそ1か月が経過いたしました。現在は、来年度のインカレに向けて日々練習に励んでおります。チームづくりにおいて私が特に重視しているのは、「チーム力の向上」とです。部員数は19名と少数ではありますが、その分、一人ひとりの意見を大切に

女子主将
藤本 穂



この度、同志社大学水泳部女子主将を務めさせていただきますことになりました。藤本穂です。まず初めに、日頃より水泳部O・B・OG会の皆様、保護者の皆様には、水泳部への多大なるご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。女子主将、最上回生として、これまでの先輩方から受け継いだ経験を活かし、102代目に相応しい結果や行動を示せるよう精一杯努めてまいります。私は普段学校での練習には参加できていませんが、その分、試合に出場する際には自分のできる最大限の努力を重ね、泳ぎで水泳部に貢献できるよう励んでまいります。結果で仲間の良い刺激を与えられるよう、一泳一泳を大切に全力で挑みます。今シーズン、全員が前回より良い結果を残すことを目標にし、個々の成長がチーム全体

副主将
若杉 拓翔



この度、水泳部の副主将を務めさせていただくことになり

ました。3回生の若杉です。私は副主将としてチームの中心である主将根倉のサポートをしつつ、チーム1人1人に寄り添い部員全員が水泳に集中でき、1つの目標に向かっていくようなチームの雰囲気を作っていきたいと思っています。またチームの最上回生として、これまでの先輩方から受け継いだ伝統や経験を生かしていきたいと思います。102代目に相応しい結果を残すように精一杯頑張ります。次に個人的な話にはなりませんが、私は商学部のスポーツ推薦をいただいて同志社大学水泳部に入部しました。2年目は決勝に残り、チームに貢献するなといった目立った成績は残せずにいました。3年目の関西インカレでは、102代の引き継ぎではありましたが、ベストタイムを更新することができました。このような結果を出すことができ、普段なにに不自由なく練習が出来るのは、O・B・OGを含め、たくさんの方々の支援の下、素晴らしい環境で練習に取り組んでいること、また練習中も全員メリハリのある練習態度やいい雰囲気練習でできている環境を作ってくれた先輩方。その意思を引き継ぎ、いま一つの目標に向かっていけるチームメイト全員

主務
洲崎 透真



この度、水泳部の主務を務めさせていただくことになりました。2回生の洲崎透真です。まだ経験も浅く、未熟な部分も多い私ですが、このような大切な役割を任せていただいたことに感謝するとともに、その責任の重さを強く感じています。主務として、チームの中心を担う根倉主将を支え、伝統ある同志社大学水泳部を次の世代へとしっかり繋いでいけるよう努めてまいります。さて、インカレが終わりましたが、2ヶ

会計
金田 浩聖



この度、水泳部の会計を務めさせていただくことになりました。一回生の金田浩聖です。また一回生である私がこのような重要な役職に選ばれたことを大変光栄に感じます。私はすべきことを後回しにしがちだったりしますが、その点は改善し、水泳部全体に関わる会計の責任を意識して早めの行動を心がけます。1年間よろしくお願いし

DUS記録会

今年もDUS記録会を開催することができました。参加人数107名で216種目のエントリーがありました。あいにくの天気でしたがレース開始時には雨も上がり、気温もそこまで低下しておらずスムーズに進行することができました。

午後から本降りになる予報だったため、大学生による模範泳法と試合後のレッスンは中止となりましたが、新競技のリレー種目が参加者に好評で、多くの笑顔や選手同士の交流も見られ大変有意義な大会となりました。



令和7年10月1日(日)9時～ @京田辺プール



大会結果ご報告



第101回 日本学生選手権水泳競技大会 in 東京アクアティクスセンター



団体の総合順位

女子

83点/14位

男子

0点



リレーの成績

男子400mフリーリレー	高嶋 悠雅	51-38	予選18位
	洲崎 透真	51-67	
	金田 浩聖	51-59	
	長島 京志郎	50-44	
		3-25-08	
男子400mメドレーリレー	洲崎 透真	1-03-29	予選44位
	徳野 陽太	1-05-22	
	田中 大雅	56-69	
	若杉 拓翔	52-43	
		3-57-63	
男子800mフリーリレー	長島 京志郎	1-51-63	予選21位
	洲崎 透真	1-54-54	
	金田 浩聖	1-54-22	
	根倉 悠樹弘	1-55-05	
		7-35-44	
女子400mフリーリレー	井上 ひなた	58-45	予選20位
	梶本 一花	57-60	
	藤本 穂	58-10	
	岡本 和奈	1-00-95	
		3-55-10	
女子800mフリーリレー	藤本 穂	2-02-85	予選13位通過
	岡本 和奈	2-08-12	
	阪井 優心	2-10-96	
	梶本 一花	2-00-49	
		8-22-42	
	藤本 穂	2-03-08	B決勝5位
	梶本 一花	1-59-60	
	岡本 和奈	2-08-85	
	阪井 優心	2-10-51	
		8-22-04	



個人の成績

男子50mフリー	高嶋 悠雅	23-17	予選21位タイ
男子100mフリー	洲崎 透真	51-84	予選64位
	長島 京志郎	51-53	予選50位
	高嶋 悠雅	52-90	予選81位
男子200mフリー	洲崎 透真	1-54-27	予選58位
	金田 浩聖	1-56-22	予選76位
	長島 京志郎	1-51-14	予選20位
男子400mフリー	根倉 悠樹弘	4-02-72	予選42位
男子1500mフリー	根倉 悠樹弘	15-49-18	予選25位 ベスト
男子200mバタフライ	田中 大雅	2-08-25	予選67位
男子200m個人メドレー	田中 大雅	2-11-10	予選64位
男子400m個人メドレー	平林 侑島	4-37-06	予選48位
女子50mフリー	井上 ひなた	26-94	予選35位
女子400mフリー	岡本 和奈	4-28-53	予選36位
	梶本 一花	4-12-07	予選1位通過
	梶本 一花	4-06-81	決勝優勝 [大会新・ベスト]
女子800mフリー	梶本 一花	8-41-72	予選4位通過
	梶本 一花	8-29-85	決勝優勝 [大会新]
女子100mバタフライ	藤本 穂	59-49	予選3位通過
	藤本 穂	59-32	決勝4位
女子200mバタフライ	阪井 優心	2-18-71	予選37位
	藤本 穂	2-11-63	予選4位通過
	藤本 穂	2-08-91	決勝優勝 [ベスト・2連覇]
女子400m個人メドレー	阪井 優心	5-08-76	予選34位

第101回 日本学生選手権水泳競技大会 【OWS競技】 in 千葉県館山市北条海岸

女子総合優勝 38点

女子5km	藤本 穂	1-03-35-8	4位
	梶本 一花	1-02-41-4	優勝[2連覇]
女子10km	梶本 一花	2-05-03-7	優勝[2連覇]

世界選手権優勝祝勝会

今年7月にシンガポールで行われた世界選手権でオープンウォータースイミング(OWS)の女子3kmノックアウトスプリントで、日本人として初めて【金メダル】を獲得した梶本一花(スポ健4)と、競泳200mバタフライで【堂々の準決勝】進出を果たした藤本穂(スポ健3)の輝かしい功績を讃える祝勝会が、10月26日にリーガロイヤルホテル京都で開催されました。当日は、小原学長をはじめ、多数のVIPにご臨席いただき、レース映像で振り返りながら両選手が解説。トップアスリートとして次なる高みを目指す力強い決意が語られました。



多くの方にご臨席いただき誠にありがとうございました

あの感動と興奮をもう一度!

下記QRコードから、世界水泳の様子をご覧ください。



OWS 3km



OWS 5km



OWS 10km



来る令和8年3月7日(土)

「令和7年度OB・OG総会」の開催を予定しております。追いコン・新入生歓迎会も併せて開催いたしますので、皆さまお誘い合わせの上ご参加ください。

タイムスケジュール

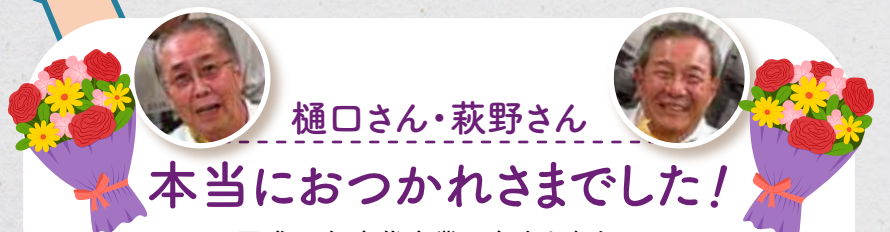
OB・OG総会 13:00～

追いコン・新入生歓迎会 14:00～

※校祖墓参はありません。

会場

未定 追ってご連絡いたします。



樋口さん・萩野さん
本当におつかれさまでした!

平成20年度代卒業の有志を中心に【樋口さん・萩野さんおつかれさまでした会】が開催されました。

